

2022年3月30日

各 位

上場会社名	株式会社 東 天 紅
代表者名	代表取締役社長 小 泉 和 久
(コード番号	8181)
問合せ先責任者	取締役管理部長 佐 藤 昇
(TEL	03-3828-6272)

営業外収益、特別利益、特別損失の計上及び繰延税金負債の取崩し並びに 2022年2月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記の営業外収益及び特別利益並びに特別損失を計上するとともに、繰延税金負債を取崩し、2021年4月19日に公表した2021年2月期決算短信において未定としておりました2022年2月期通期(2021年3月1日～2022年2月28日)業績予想及び配当予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 営業外収益の計上

新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金等147百万円を「助成金収入」として、営業外収益に計上いたしました。

2. 特別利益の計上

緊急事態宣言下の臨時休業による損失に対応する新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金30百万円を「助成金収入」として、特別利益に計上いたしました。

3. 特別損失の計上

(1) 店舗閉鎖損失の計上

大阪府中央区の「東天紅大阪天満橋OMM店」閉鎖による原状回復費用143百万円を「店舗閉鎖損失」として特別損失に計上いたしました。

(2) 減損損失の計上

閉店した神戸店の土地及び建物について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、遊休資産として、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失128百万円を特別損失として計上いたしました。

(3) 臨時休業等による損失の計上

新型コロナウイルスの感染拡大に伴うまん延防止等重点措置により店舗を臨時休業したため、休業に伴う固定費等119百万円を「臨時休業等による損失」として、特別損失に計上いたしました。

4. 繰延税金負債の取崩し

神戸店の減損損失計上に伴う土地再評価差額金及び繰延税金負債の取り崩しにより、法人税等調整額38百万円を計上いたしました。

5. 2022年2月期通期累計期間個別業績予想数値の修正(2021年3月1日～2022年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	1,990	△ 1,050	△ 200	△ 950	△ 367.20
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2021年2月期)	1,611	△ 1,672	△ 1,411	△ 1,938	△ 754.61

6. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想	—	—	—	—	—
今回修正予想	—	—	—	0.00	0.00
当期実績	—	0.00	—		
(ご参考)前期実績 (2021年2月期)	—	0.00	—	0.00	0.00

7. 修正の理由

当期は、新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が繰り返され、休業や時短営業を実施した結果、前年比では増収が見込まれるものの、新型コロナウイルス感染拡大以前の一昨年に比べ70.6%減と大幅な減収を余儀なくされ、営業損失を計上する見込みとなりました。

助成金収入等を営業外収益に875百万円、特別利益に269百万円計上したものの、店舗閉鎖損失143百万円、減損損失128百万円や臨時休業等による損失750百万円を計上し、繰延税金負債を取り崩し、法人税等調整額38百万円を計上した結果、経常損失、当期純損失を計上する見込みとなりました。

配当予想につきましては、通期の業績予想等を総合的に勘案しました結果、無配とさせていただきます。

(注)上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上